

ひので町民大学 高齢者にやさしいまちづくり入門
地域の魅力発見プログラム！日の出町民×東大生コラボ企画
～ まちを歩いて暮らしと健康を考えよう ～

日の出町教育委員会文化スポーツ課では、“出会い・ふれあい・学びあい”をテーマに生涯学習事業「ひので町民大学」を実施しています。この度、日の出町と東京大学大学院との「高齢者にやさしい地域づくり」の覚書に基づき、「地域の魅力発見プログラム！日の出町民×東大生コラボ企画」で、ひので町民大学 高齢者にやさしいまちづくり入門を実施しました。

今回の町民大学の本講座は、東京大学教養学部「全学自由研究ゼミナール」と合同で以下のプログラムで2日間にわたって実施され、町民は最多14名、学生14名が参加しました。

「ひので町民大学 高齢者にやさしいまちづくり入門」

プログラム① 8月8日（木）9：30～12：00

～ まち歩きで地域再発見 ～

参加者みんなで3班（萱窪・幸神・大正）に分かれてまち歩きをしながら、地域の暮らしや健康に関する課題を確認しました。生活者の視点として地域がどう見えるのか、大事にしたいものがあるのか、解決したい困りごとがどこにあるのかを、楽しく語り合いました。

まち歩きの結果は、より良い暮らしに向けたアクションの検討に活用し、まち歩き終了後、東大生が地域改革の作戦を考えました。



まち歩き 1班「大正地区」



まち歩き2班 「幸神地区」



まち歩き3班「萱窪地区」



東大生による地域改革作戦会議

「ひので町民大学 高齢者にやさしいまちづくり入門」

プログラム② 8月9日（金）13：30～15：30

～まちづくりコラボ提案発表会・認知症講座～

これからの暮らしを思い描くために、町民と東大生のまちづくりコラボ提案を発表します。町民の想いと東大生の発想を融合して、地域づくりの新しいアイデアを提案しました。

提案を聞きながら、自分の中のまちづくりへの想いや気づきがありました。

認知症講座では、認知症のある人への支援のあり方について学ぶことができました。



1班「大正地区」作戦タイトル
「農産物でつながるまちづくり」



2班「幸神地区」作戦タイトル
「運動交流を通じて心も体も健康に」



3班「萱窪地区」作戦タイトル
「KAYAKUBO LOUNGE
～萱窪の住民に健康と安心を～」



認知症講座

参加された町民の方々からは、

「学生と一緒に歩いてコミュニケーションをしたことが楽しかった」
「自分にとってはあたりまえと思っていたことも、別の見方があるのかと気づかされた」
という学生との交流についてのご感想や、「これからも続けて講座を行って行って欲しい」
「次は平井地区を歩いてほしい」という次回に繋げるご意見もありました。

今後

本総合講座は「日の出町教育ビジョン 2023」における、「行政をはじめ、学校や保護者、自治会、大学、企業・商店街、NPO・ボランティア団体など、様々な主体や場を生かした協働の教育づくり」の一環とした、日の出町の社会教育の充実、教育の最大の基盤ともいえる地域コミュニティの形成に資する取組となりました。